

令和6年度 第3回学校運営協議会（コミュニティスクール） 報告

1. 日 時：令和7年2月17日（月） 午前10時から正午まで
2. 場 所：静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校
3. 出席者：荻野 耕介 様（伊豆介護センター）
田畑まどか様（特定非営利活動法人 絆翔）
望月 正仁様（NPO 法人 伊豆高原 BASE）
関川 永子様（本校 PTA 会長）
学校：長崎 良夫（校長）、増井 孝弘（教頭）、小松 真理（高等部主事）、
佐藤 弘康（教務課長）
4. 内 容 司会（小松） 記録（佐藤）

(1) 校長あいさつ

(2) 学校経営評価

今年度の学校経営評価の説明

[守る]

- ・「さん付け」をすることで人権を守れるのか。それよりも教師が生徒を一人の人間としてはぐくむ姿勢がないと人権は守れないのでは。
- ・「試される」のではなく「できた。」喜び、達成感をたくさん経験できるのが学校の在り方。
- ・課題とされることを「評価」で終わらず支援をしていかなければいけない。

[育む]

- ・教育支援計画で問題行動について「有効だった手立て、どういう移り変わりによってなくなっていったのか、「生の声」をそのまま実習先にも伝えてほしい。
- ・実習巡回で保護者が行く意図、大切さをはっきり伝えてほしい。

[つなぐ]

- ・保護者との「つなぐ」を考えてほしい。学校で大変なこと手が欲しい時には保護者からの助けをもらってもいいのではないかな。

[高める]

- ・ヒヤリハット、や人権意識について個々の考えもあるので難しいところもあるが、生徒第一に考えてという根っこの部分がぶれないように。